

木とともに創る105のデザイン

隈研吾氏推薦

建築家
日本ウッドデザイン協会会長

「伝統と革新の融合、木を知り、木を活かすデザイン。
間違いなく、木造建築の未来を拓く一冊である。」



はじめに

木のある空間に足を踏み入れたとき、ふっと息がゆるむ感覚。

やわらかな光、木肌のぬくもり、時を重ねて深まる表情。

それは、単なる「空間」ではなく、

人の営みや記憶にやさしく寄り添う「風景」のようでもあります。

本書『木とともに創る105のデザイン』では、木の魅力を活かした日本全国の建築・空間の事例を紹介しています。

それぞれの事例には、地域に根ざした素材や技術の継承、使い手の心地よさへの配慮、そして木の可能性を広げようとする作り手たちの思いが込められています。

掲載されているのは、2024年に第10回を迎えた一般社団法人 日本ウッドデザイン協会が主催する「ウッドデザイン賞」の過去10年分の受賞作品の中でも、とくに国産木材を多彩に、かつ豊かに使い、その空間の魅力を伝えているものばかりです。技術や構法、デザインの工夫に加え、木がもたらす感覚的な心地よさや、地域との関わりなど、さまざまな視点から「木の空間」の魅力をひもといています。

木は、ただ建物を支える建築材料ではありません。

人と人、人と場所とのつながりを育みながら、時とともに価値を深めていく、「生きた素材」です。

この本を通して、木の空間がもたらす豊かさと、そこに込められた人々の工夫やまなざしの温かさに、そっとふれていただけたら幸いです。

最後に、本書の企画・編集にご協力いただいた、ウッドデザイン賞の運営母体である一般社団法人 日本ウッドデザイン協会の皆様に、心より感謝申し上げます。

一般財団法人 建設物価調査会



photo by studio BAUHAUS



photo by studio BAUHAUS

自然の中で育つ、
木と光に包まれた保育園

43 木造 - 保育園・幼稚園・認定こども園

HN Nursery

秦野の豊かな自然に囲まれ、一日中自然に触れて過ごすことで、自ら発見し、考え、学べる環境になっている。外部と内部の垣根を曖昧にし自然からの学びを維持する。大空間の保育室には大きな木が生え、天窓から太陽光がさしている。日々の変化を肌で感じ、大自然から学び、創造性を育む。

DATA
主な樹種・木質材料／ヒノキ集成材、カラマツ集成材
炭素貯蔵量／74t-CO₂
発注者／(福)UNITED FAMILY
設計者／(株)日比野設計
施工者／(株)コラム建設

43 KANAGAWA



094 photo by studio BAUHAUS



photo by studio BAUHAUS 095